

2019年4月12日

「デジタルエンジニアリングアカデミー」の開講について ～ものづくりのためのIoT技術を学ぶ～ (武蔵野銀行×東洋大学 工業技術研究所)

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、県内ものづくり企業の皆さまのデジタル化による生産性向上を支援するため、今年度も「デジタルアカデミー」を開催いたしますので、お知らせします。

デジタルアカデミーは、昨年同様、技術をテーマにした「デジタルエンジニアリングアカデミー」（今回募集）と経営戦略をテーマとした「デジタルマネジメントアカデミー」（8月開講予定）の2つのワーキングを開講いたします。

今回募集の「デジタルエンジニアリングアカデミー」は、東洋大学 工業技術研究所と連携し、ものづくりのためのIoT技術をテーマに全3回シリーズとし、講義やフィールドワークに加えIoTのキットを用いた実習など、より実践的な内容で行います。

当行では、今後も地域金融機関として企業の皆さまの様々なニーズにお応えしながら、企業の成長支援を継続してまいります。

【デジタルエンジニアリングアカデミー概要】

- <テーマ> ものづくりのためのIoT技術を学ぶ
- <対象> 企業（主に製造業）の技術責任者・技術者の方等
- <受講料> 25,000円／1名（税込）（実習キット代約15,000円含む）
- <定員> 20名（1社2名まで）
- <主催・共催> （主催）武蔵野銀行、東洋大学 工業技術研究所
（共催）ぶぎん地域経済研究所
- <主任講師> 東洋大学 理工学部 機械工学科 松元明弘教授
- <プログラム>

回数	日程（14時～17時）	内容
第1回	5月15日（水）	講義（身の丈IoT）＋ディスカッション
第2回	7月10日（水）	IoTを導入している企業視察会
第3回	9月11日（水）	IoTキットを使った実習 ※センサーの情報をスマホアプリで見える化する。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 田沼、藤井
TEL (048) 641 - 6111（代） 内線 2704、2705